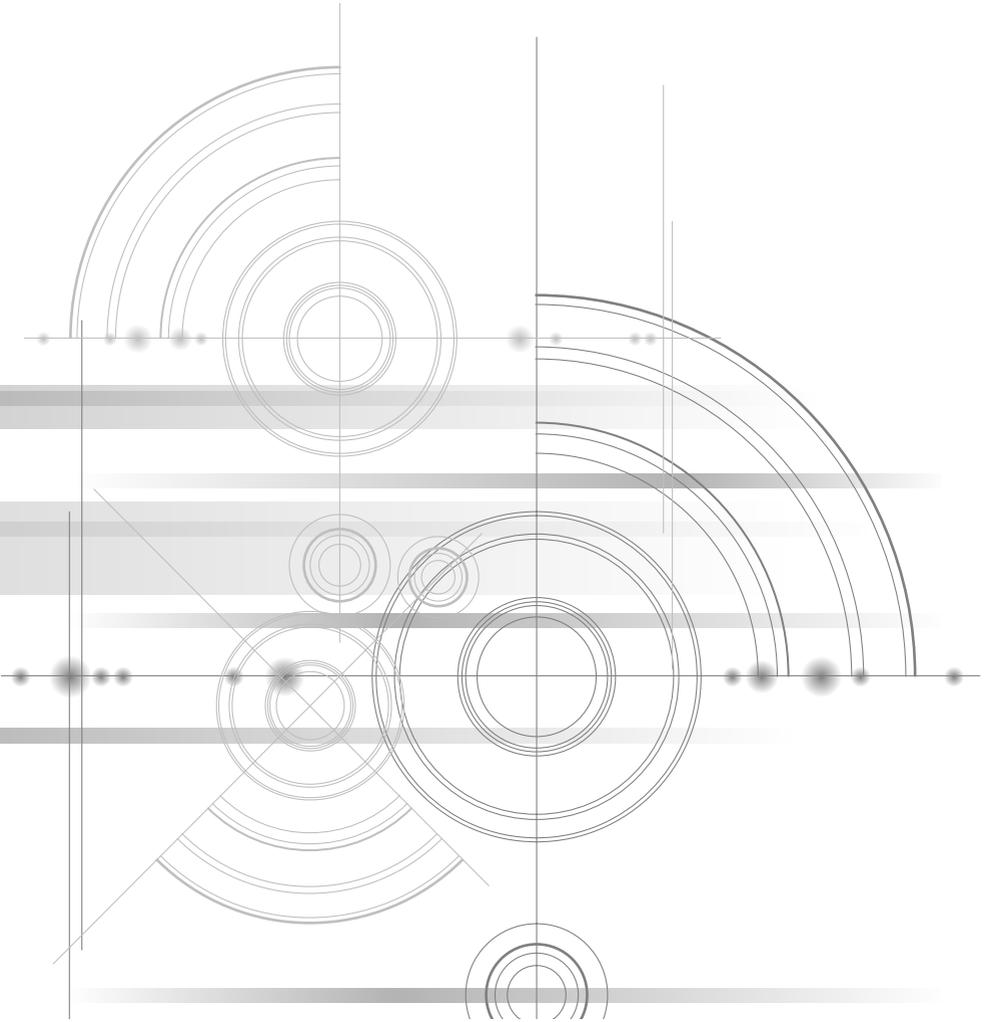


# *Aterm*<sup>®</sup> お使いになる前に



AM1-000149-001

# はじめに

このたびは、本商品をお選びいただきまことにありがとうございます。  
本商品をご使用していただくにあたり、下記の内容をご確認ください。

- ADSLのサービス提供地域であっても、設備・回線等の都合により本商品をご利用になれない場合があります。
- 遠隔検針（ノーリング通信サービス）や警備保障、回線自動選択装置（ACR/LCR）等の電話回線を利用したサービスを利用されている場合、それらのサービスに支障をきたす場合があります。
- ADSL区間の距離や設備状況、他回線からの影響、お客様宅内で接続されている通信設備（ACR/LCR等）等の影響により、最大通信速度が当初より得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- ADSLによるインターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入及び情報搾取等の危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールする等の対応をお願いいたします。
- 電波障害自主規制について  
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 輸出する際の注意事項  
本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し、海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。
- ご注意  
(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。  
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。  
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一、ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。  
(4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 廃棄方法について  
この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。  
詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

# 目次

はじめに	1
目次	2
安全にお使いいただくために必ずお読みください	3
トラブルシューティング	10
設置に関するトラブル	10
無線 LAN に関するトラブル	16
ご利用開始後のトラブル	18
パソコンのネットワークを設定する	19
本商品とパソコンの接続を確認する (IP アドレスの確認)	25
JavaScript® の設定を確認する	28
確認シート	32
お問い合わせ	36
お問い合わせについて	36
本商品の輸送時のお取扱いについて	36

- Aterm® は、日本電気株式会社の登録商標です。
- Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 Professional は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98SE は、Microsoft® Windows® 98 operating system Second Edition の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
- Netscape® は、米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。
- Mac、Macintosh は、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- JavaScript® は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他の各会社名および各製品名は、各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2003-2005

© NEC AccessTechnica, Ltd. 2003-2005

日本電気株式会社および NEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

# 安全にお使いいただくために必ず お読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 本書中のマーク説明

-  **警告** : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : 本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

## 警告

### 電源

- AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となります。  
差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。  
また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 本商品のACアダプタ（電源プラグ）は、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。
- ACアダプタ（電源プラグ）は必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタ（電源プラグ）は他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタ（電源プラグ）に物をのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。

- ACアダプタ（電源プラグ）は風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。
- 万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。
- 感電防止のため、アース線の接続は必ず本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース線を外す場合は必ずACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてから行ってください。

### こんなときは

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先までご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。
- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。
- 万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

## 警告

### 禁止事項

- 本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。
- 本商品を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

### その他のご注意事項

- 本商品のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。  
人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

 **注意**

**設置場所**

- 本商品は温度0～40℃、湿度10～90%の結露しない環境でご使用ください。
- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。  
また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
  - ・横向きに寝かせる
  - ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
  - ・じゅうたんや布団の上に置く
  - ・テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。必ず添付の縦置きスタンドを使用して縦置きをご利用ください。また、本商品を壁などに近づけないでください。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。
- 本商品と電話機を接続する回線ケーブルは絶対に屋外を通さないでください。  
雷などによる障害の原因となります。

## 注意

### 電源

- 本商品の AC アダプタ（電源プラグ）はコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず AC アダプタ（電源プラグ）をもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の AC アダプタ（電源プラグ）とコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。

### 禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- 「つなぎかたガイド」（別紙）に従って接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。
- 高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

## STOP お願い

### 設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
  - ・ほこりや振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
  - ・高周波雑音を発生する高周波マシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
  - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

### 禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類がはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

### 日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

## STOP お願い

### ADSLに関する注意事項

- ADSLを設置しているNTT局舎から設置場所までが離れている場合、あるいは十分な配線設備がない場合は、十分な通信速度が出ないか、または使用できないことがあります。
- 設置場所の近くに幹線道路、線路、送電線、送信所など電波を発するものがある場合は、十分な通信速度が出ないか、またはADSL回線による接続が途切れたりすることがあります。
- ADSLスプリッタは、添付のスプリッタを使用してください。添付品以外のスプリッタを使用した場合、正常に動作しないことがあります。スプリッタに接続するケーブルは、必ずスプリッタに添付のケーブルをご使用ください。
- 電話回線で着信があった場合は、ADSL回線による接続が途切れることがあります。
- 近くにガス検針・検知器などがあると、十分な通信速度が出ないことがあります。
- 通信速度は、パソコンの環境や接続プロバイダ、サーバ、接続時間帯により実際の実効速度とは異なります。
- 次のような場合は、速度が遅くなることがあります。
  - ・ ISDN回線などのノイズ源がある場合
  - ・ 配線のルート変更で距離が伸びた場合
  - ・ 電話回線の音声信号にデータを重畳させている場合
  - ・ スプリッタで分離していても配線状況が悪い場合

### IP電話に関するご注意

- ご使用になる電話機は端末審査協会適合マーク「㊤」または「㊦」がついているものをご使用ください。  
本商品の電話機ポートは擬似的にアナログ電話回線と同等の環境を作っています。実際のアナログ電話回線とは異なるので通信機器によっては使用できない場合があります。また、本商品の電話機ポートには電話機のブランチ接続はできません。

### その他のご注意

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。

# トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。  
該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し（☛「つなぎかたガイド」（別紙）（機種によっては「再設定ガイド」）参照）、初めから設定し直してみてください。初期化を行うと本商品のすべての設定が消去されますのでご注意ください。なお、初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。

（→クイック設定 Web の [メンテナンス] - [設定値の保存&復元] にて保存できます。）

- ・ 設置に関するトラブル（☛ 下記）
- ・ 無線 LAN に関するトラブル（☛ P16）
- ・ ご利用開始後のトラブル（☛ P18）
- ・ パソコンのネットワークを設定する（☛ P19）
- ・ 本商品とパソコンの接続を確認する（☛ P25）
- ・ JavaScript® の設定を確認する（☛ P28）

## 設置に関するトラブル

どこまで設置、設定できているのかをご確認のうえ、トラブルに対する原因と対策をご覧ください。

→ NG (a 参照 ☛ P11)

↓ OK

→ NG (b 参照 ☛ P11)

↓ OK

→ NG (c 参照 ☛ P11)

↓ OK

→ NG (☛ P19 参照)

↓ OK

→ NG (d 参照 ☛ P12)

↓ OK

→ NG (e 参照 ☛ P12)

↓ OK

→ NG (f 参照 ☛ P13)

↓ OK

→ NG (g 参照 ☛ P13)

### a.本商品前面のPOWER ランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
POWER ランプが 消灯している	<ul style="list-style-type: none"> <li>● AC アダプタ（電源プラグ）が壁のコンセントまたは本商品背面の電源ジャックから外れていないか確認してください。</li> <li>● AC アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。（パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。）</li> <li>● AC アダプタ（電源プラグ）が破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに AC アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。</li> </ul>
POWER ランプが 橙点灯している	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ファームウェアをバージョンアップしています。機種によっては、装置が自動的にバージョンアップを行う機能が設定されています。</li> </ul>
POWER ランプが 緑赤交互点滅している	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「つなぎかたガイド」（別紙）を参照して、手でインターネット接続設定を行ってください。</li> </ul>

### b.本商品前面のADSL ランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
ADSL ランプが 緑点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ADSL 回線の開通工事が完了していないことが考えられます。ADSL 接続事業者に開通工事が完了しているか確認してください。</li> <li>● ADSL 回線からスプリッタとの間に電話機は接続できません。「つなぎかたガイド」（別紙）に従って接続をやり直してください。</li> <li>● セキュリティアダプタやガス検知器などが接続されている場合は、ADSL 回線と併用できない場合があります。詳しくは、管理会社、住宅管理会社にお問い合わせください。</li> <li>● お客様の設置場所が NTT 局舎から離れている場合は、お使いになれないことがあります。</li> <li>● 本商品背面の ADSL 回線ポートとスプリッタの MODEM ポートが ADSL 回線ケーブルで接続されていることを確認してください。</li> </ul>

 ご契約のプロバイダへお問い合わせください。

### c.本商品背面のETHERNET ポート状態表示LEDが緑点灯しない

症 状	原因と対策
背面のETHERNET ポート 状態表示LEDが緑点灯 しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本商品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。</li> <li>● LAN ボードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。</li> <li>● ETHERNET ケーブルが本商品の ETHERNET ポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。</li> <li>● 「つなぎかたガイド」（別紙）の「接続して電源を入れよう」を参照して配線の確認をしてください。また、パソコンが LAN カード／LAN ボードを認識しているかを確認してください。</li> </ul>

 各パソコンメーカーもしくは販売店へお問い合わせください。

d.本商品前面のPPPランプが緑点灯しない

症 状	原因と対策
PPPランプが 消灯している	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プロバイダから送られているユーザー名とパスワードが設定されていません。 「つなぎかたガイド」(別紙)(機種によっては「再設定ガイド」)を参照してインターネットの接続設定を行ってください。 その際、WWWブラウザでの設定画面が表示されない場合はh(●P14)を、また、クイック設定Webの操作ができない場合はi(●P15)を参照してください。</li> </ul>
PPPランプが 緑点滅し続けている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プロバイダから送られているユーザー名もしくはパスワードがあっていることを確認してください。</li> <li>●ユーザー名とパスワードが間違っている。 →ADSLインターネット接続のユーザー名は、「*****@xxxxxx.ne.jp」(例)のように@以下のプロバイダのアドレスまですべて入力するのが一般的です。プロバイダからのユーザー名とパスワードを再確認して正しく設定してください。</li> </ul>

 ご契約のプロバイダへお問い合わせください。

e.インターネットに接続できない

症 状	原因と対策
ADSL (PPPoE) 接続 できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Windows® XPのPPPoE機能を使用していませんか。 →パソコンのPPPoE機能を使用するとADSLサービスによっては、パソコンを1台しか接続できません。複数のパソコンを同時に接続できるADSLサービスを契約せずに、同時に2台以上接続したい場合は、Windows® XPのPPPoE機能の使用は止めて、再度、本商品を設定し直してください。</li> </ul>
接続に失敗する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お客様の設置場所がNTT局舎から離れている場合は、お使いになれないことがあります。</li> <li>●セキュリティアダプタやガス検針器などが接続されている場合は、ADSLと併用できないことがあります。詳しくは、回線接続事業者、管理会社、住宅管理会社などへお問い合わせください。</li> <li>●本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。</li> </ul>
ダイヤルアップ接続の ウィンドウが開いてくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●WWWブラウザの接続設定が、「ダイヤルしない」の設定になっていない。 →パソコンの「インターネットのプロパティ」の「接続」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認します。(●P19「パソコンのネットワークを設定する」参照)</li> <li>●メールソフトの設定が、LAN接続の設定になっていない。 →LAN接続の設定になっていることを確認してください。</li> </ul>
インターネット接続中に 回線が切断される	<ul style="list-style-type: none"> <li>●無通信監視タイマで自動切断される場合があります。 無通信監視タイマはクイック設定Webの「接続先設定」の「接続先の切断」で設定できます。</li> </ul>
ホームページが開けない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●DNSサーバアドレスが間違っている。 →自動取得できないプロバイダの場合は、プロバイダから指定されたDNSサーバアドレスをプロバイダからの情報に従って「クイック設定Web」画面の「接続先設定」のネームサーバ(DNSサーバ)アドレスの欄に入力してください。</li> </ul>

 ご契約のプロバイダへお問い合わせください。

## f. 本商品前面の VoIP ランプが緑点灯しない

症状	原因と対策
電話機を利用していない状態で 消灯している	IP 電話の登録がされていません。 IP 電話の契約をされているか、契約内容を確認してください。契約されている場合は、本商品に添付の「つなぎかたガイド」(別紙)(機種によっては「再設定ガイド」)を参照して、再度接続設定し直してください。また、インターネットに接続できているか確認してください。
電話機を利用していない状態で 赤点灯している	IP 電話利用不可の状態です。 IP 電話機能の設定内容を確認してください。また、インターネットに接続できているか確認してください。
電話機を利用していない状態で 橙点灯している	クイック設定 Web で「IP 電話利用停止」が設定されています。 →クイック設定 Web の「情報」→「電話の状態と状態の変更」で「IP 電話利用開始」をクリックしてください。

 ご契約の IP 電話接続事業者（プロバイダ等）へお問い合わせください。

## g. IP 電話が使えない

症状	原因と対策
IP 電話が使えない	本商品背面の ADSL 回線ポートとスプリッタの MODEM ポートが ADSL 回線ケーブルで接続されていることを確認してください。接続のしかたについては、添付の「つなぎかたガイド」(別紙)をご覧ください。
ファクス通信ができない	ファクス通信に必要な帯域が取れていません。 →加入電話回線（NTT 等）で発信し、使用してください。 操作方法については、「IP 電話使いかたガイド」(別冊)または IP 電話接続事業者（プロバイダ等）より案内される資料（「IP 電話ご利用ガイド」など）を参照してください。
加入電話（NTT 等）で電話がかかけられない	●電話回線モードの設定が正しくない場合があります。 →本商品では、電源を入れたときに回線種別を自動認識（初期値）しますので、必ず回線を先に差してから、電源を入れてください。

 ご契約の IP 電話接続事業者（プロバイダ等）へお問い合わせください。

h.WWW ブラウザで設定画面が表示されない

症 状	原因と対策
<p>WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代わりに IP アドレスを入れても表示できません。工場出荷時の場合の IP アドレスは「http://192.168.0.1/」です。IP アドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。</li> <li>● お使いのパソコンにプロキシの設定をしていませんか。 →プロキシの設定をしている場合、受付が拒否されます。Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ① [ツール] - [インターネットオプション] - [接続] - [LAN の設定] の順にクリックする ② [プロキシサーバーを使用する] の [詳細] をクリックして、例外に「web.setup」を入力する</li> <li>● お使いのパソコンにファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、(パソコンによっては、あらかじめインストールされている場合があります。) 本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。本商品の設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトはいったん停止してください。インターネットに接続できたら、もう一度必要な設定を行ってください。停止や設定の方法はソフトによって異なりますので、ソフトまたはパソコンのメーカーにお問い合わせください。</li> </ul>
<p>ダイヤルアップ接続のウィンドウが開いてしまう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● WWW ブラウザの接続設定が、「ダイヤルしない」の設定になっていない。 →パソコンの「インターネットのプロパティ」の [接続] で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認します。(☞P19「パソコンのネットワークを設定する」参照)</li> </ul>
<p>クイック設定 Web 画面が開けない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 複数固定 IP サービスをご利用の場合、グローバル IP アドレスを割りつけたパソコンから本商品を設定する際「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web 画面は開きません。WWW ブラウザのアドレスに、接続事業者またはプロバイダから割りあてられた本商品のグローバル IP アドレス (例えば http://200.200.200.1/) を入力してください。</li> <li>● ETHERNET ポートにパソコンを接続している場合は、IP アドレスの取得ができていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。(☞P19「パソコンのネットワークを設定する」参照)</li> </ul>

 各パソコンメーカーへお問い合わせください。

## i. クイック設定 Web の操作ができない

症 状	原因と対策
インターネットの接続設定でエラーが表示されるまたは、クイック設定 Web 操作が正常にできない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● クイック設定 Web をお使いになるときは WWW ブラウザの設定で JavaScript® が有効になっている必要があります。JavaScript® の設定を確認してください。(▶P28 「JavaScript® の設定を確認する」)</li> </ul>
管理者パスワードを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本商品を初期化して工場出荷状態に戻して再設定してください。(▶「つなぎかたガイド」(別紙)または「再設定ガイド(機種によっては添付されません)」)。 → この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。ただし、クイック設定 Web の [メンテナンス] - [設定値の保存 &amp; 復元] で以前の設定値をファイルに保存してあると、簡単に復旧させることができます。保存法については、「機能詳細ガイド」を参照してください。(「機能詳細ガイド」は、「つなぎかたガイド」(別紙)に記載の URL からご覧ください。) ※設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。</li> </ul>
[設定] を押しても、状態が反映されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● [登録] を押していない。 → 各設定項目において、[設定] を押しても状態は反映されません。 左側フレーム内の [登録] を押し、本商品を再起動する必要があります。</li> </ul>
[登録] を押した後に、「ページを表示できません」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本商品が再起動しているためです。 → [登録] を押すと、本商品が再起動するため、「ページが表示できません」と表示されますが、異常ではありません。WWW ブラウザを終了し、再度、WWW ブラウザを起動してください。</li> </ul>
本商品のバージョンを確認したい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● クイック設定 Web で確認することができます。「情報」の「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認します。</li> </ul>
バージョンアップに失敗して、本商品の POWER ランプが赤点滅している	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フラッシュ ROM に書かれているプログラム (ファームウェア) が消えています。 → 別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。</li> </ul>
バージョンアップに失敗して、本商品の ADSL ランプが消灯かつ PPP ランプが遅い点滅をしている	

## 無線 LAN に関するトラブル

※無線 LAN 対応機種のみ

※無線 LAN 対応機種で無線 LAN をご利用になる場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）装着用の無線 LAN カード（WL54AG）を別途ご用意ください。（無線 LAN カードの取り付けについては、無線 LAN カードに添付の取扱説明書をご参照ください。）

症 状	原因と対策
ネットワーク名を忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> <li>●無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面にあるラベルに記載されています。</li> <li>●ETHERNET ポートに接続したパソコンから、クイック設定 Web の [詳細設定] - [無線 LAN 側設定] 内の「アクセスポイント設定」（無線 LAN アクセスポイント（親機）設定）で確認することもできます。</li> </ul>
データ保護設定（暗号化）のキーを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ETHERNET ポートに接続したパソコンから、クイック設定 Web の [詳細設定] - [無線 LAN 側設定] 内の「暗号化」で確認できます。</li> </ul>
無線 LAN 端末（子機）から無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源が入っているか、確認してください。</li> <li>●無線 LAN アクセスポイント（親機）の拡張カードスロットに無線 LAN カードが入っているか、しっかり奥まで挿入されているか、確認してください。また、無線 LAN カードのランプが同時に点滅しているか、確認してください。</li> <li>●無線 LAN アクセスポイント（親機）との距離が離れすぎていないか、確認してください。</li> <li>●無線 LAN 端末（子機）に WL54AG（無線 LAN カード）を使用している場合は、ランプのつき方を確認してください。消灯している場合は、無線 LAN カード（子機）が無線 LAN アクセスポイント（親機）を正しく認識していません。無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信の設定をやり直してください。</li> <li>●無線 LAN 端末（子機）に WL54AG（無線 LAN カード）を使用している場合は、サテライトマネージャの [ネットワーク一覧] で、チェックの入っている接続先を選び直してみてください。</li> <li>●ネットワーク名（SSID）があっているか、確認してください。無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定値は、クイック設定 Web の [詳細設定] - [無線 LAN 側設定] 内の「アクセスポイント設定」（無線 LAN アクセスポイント（親機）設定）で確認できます。 ※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面にあるラベルに記載されています。</li> <li>●近くに隣接する無線チャネルを使っている場合は、無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。</li> <li>●暗号化を有効にしている場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）と暗号化設定（暗号化方式、強度、暗号化キー）が一致しているか、確認してください。</li> <li>●通信モードがあっているか、確認してください。無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信は「アクセスポイント通信」（インフラストラクチャ通信）で使用します。</li> <li>●コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信がされる場合があります。お互いを数メートル以上離してお使いください。</li> </ul>

症 状	原因と対策
無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の電波状態が悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電波の届く範囲まで無線 LAN 端末（子機）を移動したり、無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）の向きを変えたりして電波状態を確認してください。</li> </ul>
「パソコン間通信」（アドホック通信）で通信できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通信モードを「パソコン間通信」（アドホック通信）でご使用の場合は、[チャンネル番号] が一致しているか、確認してください。</li> <li>●WL54AG（無線 LAN カード）で「パソコン間通信」（アドホック通信）を行う場合は、[無線動作モード] の「802.11a/802.11b」を選択してください。</li> </ul>
無線 LAN 端末（子機）を接続した Windows® XP の [ワイヤレスネットワーク] の設定で、通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続」のバールンが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バールンは一度表示されると消えてしまう場合があります。その場合は、ワイヤレスネットワーク接続のアイコンを右クリックして、「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックすると、設定を行うことができます。</li> <li>●無線 LAN 端末（子機）のドライバが正しくインストールされていない場合があります。いったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。</li> </ul>
無線状態が良好なのに、通信できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●固定 IP アドレスでお使いの場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 例：無線 LAN アクセスポイント（親機）が 192.168.0.1 のとき、無線 LAN 端末（子機）は 192.168.0.X</li> <li>●暗号化設定（暗号化方式、強度、暗号化キー）があつていることを確認してください。 暗号化キーは、大文字、小文字の区別がありますので、注意して入力してください。また、パソコンや無線 LAN カードによっては暗号化強度、暗号化キーの呼び方が異なる場合がありますのでご注意ください。 (例) 暗号化強度 WEP64bit → 40bit WEP128bit → 104bit 暗号化キー Windows® XP のワイヤレスネットワークでは「ネットワークキー」 Macintosh の AirMac では「パスワード」</li> </ul>
無線状態が良好なのに、速度がでない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近くに隣接する無線チャンネルを使っている場合は、無線チャンネルを確認して、別のチャンネルに変更してください。</li> <li>●無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）が近すぎる場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）を 1m 以上離してください。 また、Aterm シリーズの無線 LAN 端末（子機）をご利用の場合は、サテライトマネージャの設定画面で「送信出力」を下げてください。ただし、その場合は、遠くにある無線 LAN 端末（子機）から接続しにくくなります。</li> </ul>
AV サーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛び	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Aterm シリーズの無線 LAN 端末（子機）をご利用の場合で、サテライトマネージャの「ストリーミングモード」設定が「自動」のときに画像の乱れや音声の途切れなどが発生する場合は、設定を「ON」にしてください。</li> <li>●AV サーバのレートを低品質に下げてください。</li> <li>●無線状態が悪い場合は、電波状態が良好となる場所に移動させてください。</li> </ul>

ご利用開始後のトラブル

症 状	原因と対策
<p>使用可能状態において突然「IPアドレス192.168.0.xxxは、ハードウェアのアドレスが...と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された</p>	<p>● [OK] をクリックして次の手順でIPアドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう一台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行ってIPアドレスを再取得してください。</p> <p><b>【IPアドレスの再取得】</b></p> <p><b>&lt; Windows® XPの場合 &gt;</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする</li> <li>② [ipconfig /renew] を入力して [Enter] キーを押す</li> <li>③ IPアドレス (IP Address) が「192.168.0.xxx」になることを確認する</li> </ol> <p><b>&lt; Windows® 2000 Professionalの場合 &gt;</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① [スタート] - [プログラム] - [コマンドプロンプト] をクリックする</li> <li>② [ipconfig /renew] を入力して [Enter] キーを押す</li> <li>③ IPアドレス (IP Address) が「192.168.0.xxx」になることを確認する</li> </ol> <p><b>&lt; Windows® Me/98SE/98の場合 &gt;</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックする</li> <li>② [winipcfg] を入力して [OK] をクリックする</li> <li>③ Ethernetアダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用しているアダプタ名を選択する</li> <li>④ [解放] をクリックして、IPアドレスが「0.0.0.0」になることを確認する</li> </ol> <p>「IPアドレスはすでに解放しています」と表示されたときは、[OK] をクリックして⑤へ進んでください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>⑤ [書き換え] をクリックして、IPアドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する</li> </ol>
<p>前回はできたのにインターネット接続ができない</p>	<p>● 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。</p> <p>→電源を切ったあとは、10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。</p> <p>● パソコンにIPアドレスが自動取得されていません。</p> <p>→IPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。</p> <p>下記のどちらかの方法で取得してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる。(起動後、上記を参照して再度パソコンのIPアドレスを確認する。)</li> <li>b. 上記の【IPアドレスの再取得】を行う。</li> </ol>
<p>本商品が正常に動作しないが、原因がわからない</p>	<p>● 設定に誤りがある場合があります。</p> <p>どうしても動作しない場合は、本商品を初期化して工場出荷時の状態に戻し、最初から設定し直してください。(●「つなぎかたガイド」(別紙)(機種によっては「再設定ガイド」)参照)</p>

## パソコンのネットワークを設定する

パソコンのネットワークの設定は以下の方法で設定します。

※ OS が Windows® の場合、インターネットオプションの [LAN 設定] でプロキシサーバーを使用する設定になっていると、正しくインターネットに接続できない場合があります。

### Windows® XP の場合

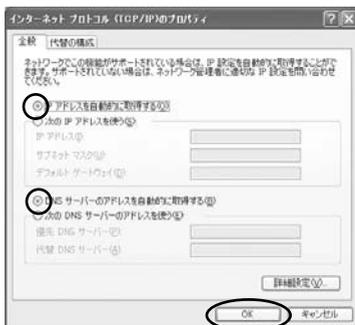
1 [スタート] - [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする

3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする

4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする

5 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択して [OK] をクリックする



6 [OK] または [閉じる] をクリックする

7 [戻る] をクリックし、[ネットワークとインターネット接続] 画面の [インターネットオプション] をクリックする

8 【接続】タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は、【ダイヤルしない】を選択する

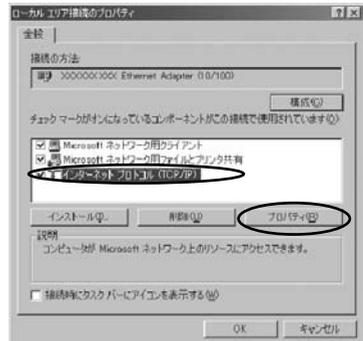


9 【OK】をクリックする

➡ 「本商品とパソコンの接続を確認する (IPアドレスの確認)」 (●P25) へ

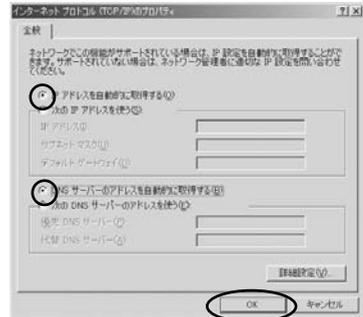
Windows® 2000 Professional の場合

- 1 【スタート】 - 【設定】 - 【コントロールパネル】 を選択する
- 2 【ネットワークとダイヤルアップ接続】 をダブルクリックする
- 3 【ローカルエリア接続】 を右クリックし、【プロパティ】 をクリックする
- 4 リストの【インターネットプロトコル (TCP/IP)】 を選択し、【プロパティ】 をクリックする



(次ページに続く)

- 5 [IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択して [OK] をクリックする



- 6 [OK] をクリックする

- 7 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択し、[インターネットオプション] アイコンをダブルクリックする

- 8 [接続] タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は、[ダイヤルしない] を選択する



- 9 [OK] をクリックする

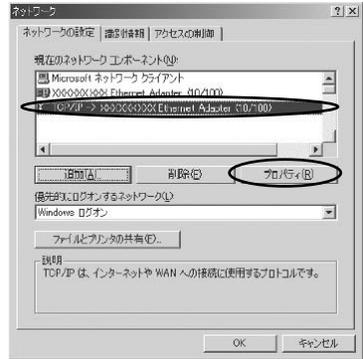
➡ 「本商品とパソコンの接続を確認する (IPアドレスの確認)」 (●P25) へ

## Windows® Me/98 の場合

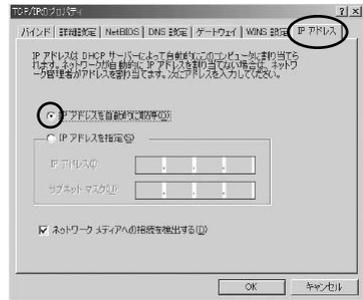
- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する

- 2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックする

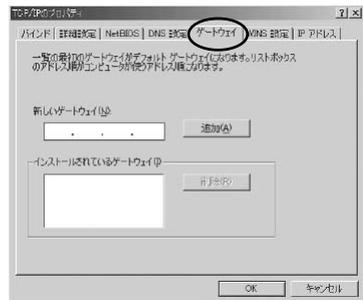
3 リストの [TCP/IP ->お使いの LAN カード (またはお使いの LAN ボード)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



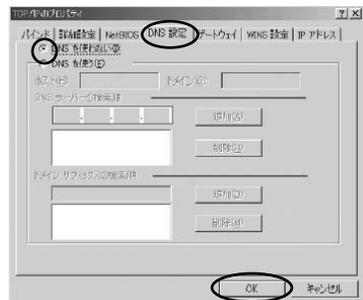
4 [IP アドレス] タブをクリックし、[IP アドレスを自動的に取得] を選択する



5 [ゲートウェイ] タブをクリックし、何も指定されていないことを確認する



6 [DNS 設定] タブをクリックし、[DNS を使わない] を選択して [OK] をクリックする



(次ページに続く)

7 [OK] をクリックする

8 再起動の指示があった場合はパソコンを再起動する

9 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択し、[インターネットオプション] アイコンをダブルクリックする

10 [接続] タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は、[ダイヤルしない] を選択する



11 [OK] をクリックする

➡ 「本商品とパソコンの接続を確認する (IP アドレスの確認)」 (P25) へ

### Mac OS X の場合

以下は、Mac OS X 10.3 の例です。

1 アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する

2 [表示] を [内蔵 Ethernet] にし、[TCP/IP] タブをクリックして [IPv4 を設定] を [DHCP サーバを参照] にする

3 [DHCP クライアント ID] と [DNS サーバ]、[検索ドメイン] を空白にする



画面は、Mac OS X 10.3 を例にして  
しています。上記 OS 以外をご利用の場  
合は、ご利用の OS マニュアルをご覧  
ください。

#### 4 [今すぐ適用] をクリックし、ウィンドウを閉じる

設定を変更しなかった場合は、[今すぐ適用] が有効になりません。その場合は、そのままウィンドウを閉じてください。

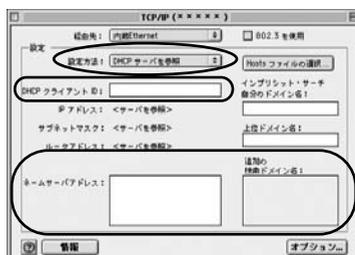
➡ 「本商品とパソコンの接続を確認する (IPアドレスの確認)」 (P25) へ

### Mac OS 9.x/8.x の場合

#### 1 アップルメニューの [コントロールパネル] の [TCP/IP] を開く

#### 2 [経由先] を [内蔵 Ethernet] にする

#### 3 [設定方法] を [DHCPサーバを参照] にし、[DHCPクライアントID] と [ネームサーバアドレス]、[追加の検索ドメイン名] を空白にして、ウィンドウを閉じる



画面は、Mac OS 9.2.2 を例にしています。上記 OS 以外をご利用の場合は、ご利用の OS マニュアルをご覧ください。

#### 4 確認のダイアログが表示されたら [保存] をクリックする

➡ 「本商品とパソコンの接続を確認する (IPアドレスの確認)」 (P25) へ

## 本商品とパソコンの接続を確認する (IP アドレスの確認)

本商品とパソコンの接続は、以下の方法で確認します。

- ※ IP アドレスが取得できなかった場合は、再度パソコンのネットワークの設定を行ってください。  
(●P19「パソコンのネットワークを設定する」参照)
- ※ 本商品の IP アドレスは、初期状態「192.168.0.1」に設定されています。  
IP アドレスを変更する場合は、「機能詳細ガイド」の「クイック設定 Web の使い方」の「LAN 側設定」をご覧ください。  
(「機能詳細ガイド」は、「つなぎかたガイド」(別紙)に記載の URL からご覧ください。)

はじめにパソコンの電源が入っていることを確認し、本商品背面の ETHERNET ポート状態表示 LED が緑点灯していることを確認してください。

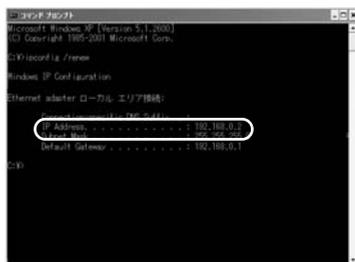
### Windows® XP/2000 Professional の場合

1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を実行する

※Windows® 2000 Professional の場合は、[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を実行します。

2 [コマンドプロンプト] の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力して、[Enter] キーを押す

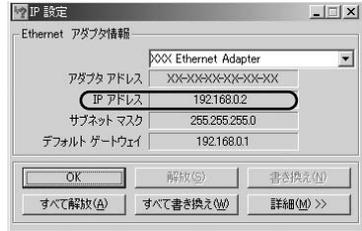
3 [Ethernet adapter ローカルエリア接続:] が表示され、IP アドレス (IP Address) が「192.168.0.x」になっていることを確認する  
(x は 1 を除く任意の数字です)



4 「exit」と入力して、[Enter] キーを押す

Windows® Me/98 の場合

- 1 [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックし、  
「winipcfg」と入力後、[OK] をクリックする
- 2 [Ethernet アダプタ情報] の ▼ をクリックし、お使いの LAN カード/  
ボードを選択する
- 3 IP アドレスが「192.168.0.x」と  
なっていることを確認する  
(x は 1 を除く任意の数字です)
- 4 [OK] をクリックする



Mac OS X の場合

以下は、Mac OS X 10.3 の例です。

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する
- 2 [表示] を [内蔵 Ethernet] にし、  
[TCP/IP] タブをクリックして、IP  
アドレスが「192.168.0.x」になっ  
ていることを確認する (x は 1 を除  
く任意の数字です)
- 3 ウィンドウを閉じる



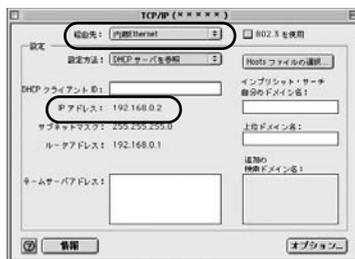
画面は、Mac OS X 10.3 を例にして  
しています。上記 OS 以外をご利用の場  
合は、ご利用の OS マニュアルをご覧  
ください。

## Mac OS 9.x/8.x の場合

以下は、Mac OS 9.2.2 の例です。

1 アップルメニューの [コントロールパネル] の [TCP/IP] を開く

2 [経路先] を [内蔵 Ethernet] にして、IP の設定画面が表示されたら、IP アドレスが「192.168.0.x」になっていることを確認する（x は 1 を除く任意の数字です）



画面は、Mac OS 9.2.2 を例にして  
います。上記 OS 以外をご利用の場合  
は、ご利用の OS マニュアルをご覧  
ください。

3 ウィンドウを閉じる

## JavaScript® の設定を確認する

WWW ブラウザ(クイック設定 Web)で設定を行うには JavaScript® の設定を有効にする必要があります。

※WWW ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定できない場合は、以下の手順で JavaScript® を「有効にする」に設定してください。

### Internet Explorer の場合

#### Windows® XP で Internet Explorer をご利用の場合

以下は、Windows® XP で Internet Explorer Ver.6.0 を使用している場合の例です。なお、Windows® 2000 Professional/Me/98 で設定する場合や、Internet Explorer Ver.5.5 以上を使用している場合にも下記と同じ手順で設定できます。

1 [スタート] – [コントロールパネル] – [クラシック表示に切り替える] – [インターネットオプション] をダブルクリックする

2 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする

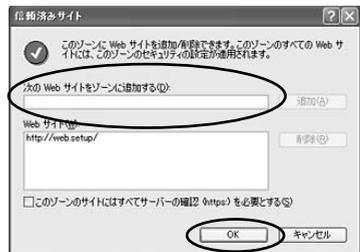
3 [サイト] をクリックする

4 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする] のチェックを外す



5 [次の Web サイトをゾーンに追加する] に「http://web.setup/」を入力し [追加] をクリックし、[OK] をクリックする

※ IP アドレス (工場出荷時は 192.168.0.1) を入力して設定画面を開く場合には、「192.168.0.1」(または設定した IP アドレス) と入力します。



6 [レベルのカスタマイズ] をクリックし、下向き▼ (矢印) をクリックし、画面をスクロールする

(次ページに続く)

- 7 [アクティブ スクリプト] を [有効にする] に変更し、[OK] をクリックする



- 8 [はい] をクリックする

- 9 [OK] をクリックする

## Mac OS X で Internet Explorer をご利用の場合

以下は、Mac OS で Internet Explorer Ver.5.1 を使用している場合の例です。  
なお、Internet Explorer Ver.5.1 以上を使用している場合も下記と同じ手順で設定できます。

- 1 Internet Explorer を起動してメニューバーの [Explorer] から [環境設定] をクリックする
- 2 [Web ブラウザ] から [セキュリティゾーン] をクリックする
- 3 [ゾーン] から [信頼済みサイトゾーン] をクリックする
- 4 [サイトの追加] をクリックする



- 5 [追加] をクリックする

- 6 「http://web.setup/」 と入力する  
 ※ IP アドレス（工場出荷時は 192.168.0.1）を入力して設定画面をひらく場合には、「192.168.0.1」（または設定した IP アドレス）と入力します。
- 7 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする] のチェックを外す
- 8 [Web ブラウザ] から [Web コンテンツ] をクリックする
- 9 [アクティブコンテンツ] で、[スクリプトを有効にする] にチェックを入れる
- 10 [OK] をクリックし、メニューバーの [Explorer] から [Explorer 終了] をクリックする  
 ※ Internet Explorer を一度終了させないと、設定は反映されません。

### Netscape® の場合

#### Windows® XP で Netscape® をご利用の場合

以下は、Windows® XP で Netscape® 7.1 を使用している場合の例です。  
 なお、Windows® 2000 Professional/Me で設定する場合や、Netscape® 7.0 以上を使用している場合にも下記と同じ手順で設定できます。

- 1 Netscape® を起動する
- 2 メニューバーから [編集] - [設定] をクリックする
- 3 [カテゴリ] の中から [詳細] - [スクリプトとプラグイン] をクリックする
- 4 [JavaScript を有効にする] の [Navigator] にチェックを入れる



- 5 [OK] をクリックする

## Mac OS Xで Netscape® をご利用の場合

以下は、Mac OSで Netscape® 7.1 を使用している場合の例です。

なお、Mac OSで Netscape® 6.1以上を使用している場合も下記と同じ手順で設定できます。

- 1 Netscape® を起動する
- 2 メニューバーから [Netscape] - [環境設定] をクリックする
- 3 [カテゴリ] の中から [詳細] - [スクリプトとプラグイン] を選択する
- 4 [JavaScript を有効にする] の [Navigator] にチェックを入れる



- 5 [OK] をクリックし、メニューバーの [Netscape] から [Netscape を終了] をクリックする

※ Netscape® を一度終了させないと、設定は登録されません。



**■ご自宅・周辺環境**

●**住居形態**  
 1.一軒家 ( ) 階建    2.集合住宅 (アパート・マンション・公団住宅) ( ) 階

●**周辺環境 (ご自宅のお近くにある該当するものすべてに○をつけてください。)**  
 1.鉄道                      2.高速・高架道路                      3.大きな河川・湖                      4.高圧送電線  
 5.電波塔・アンテナ    6.放送局                      7.工場                      8.空港  
 9.自衛隊・米軍基地    10.その他 ( )

●**宅内環境 (本商品設置周辺の電源を利用している状況を確認してください。)**

a.本商品の1 m以内にノイズ源がある (冷蔵庫、電子レンジ、TV、ステレオなど)	はい・いいえ
b.本商品をパソコンの上に乗せている	はい・いいえ
c.本商品の電源をたこ足配線できている	はい・いいえ
d.本商品の周囲に電源タップがある	はい・いいえ
e.その他	

**■電話回線状況**

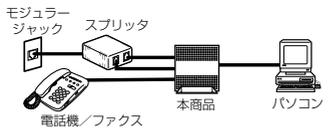
● <b>モジュラージャック個数 (電話機のさしこみ口)</b> ( ) 個 ※複数ある場合、すべてのモジュラージャックで接続確認してください。他のモジュラージャックに通信機器等は接続しないでください。	● <b>PBX 交換器</b> (ホームテレフォン、ビジネスフォン等) なし・あり	● <b>ファクス専用機</b> なし・あり
---	--	---------------------------

●**電話回線を併用するサービスの有無 (以下の中で、現在宅内にあるものすべてに○をつけてください。)**  
 1.テレフォンアダプタ (KDDI、日本テレコムなど)  
 2.ドアフォン (インターフォンと電話機が電話回線を共有)  
 3.ホームセキュリティ (セコム、SOK など)    4.ガス警報機・検針器  
 5.火災報知器    6.CATV、CS 放送 (SKY PerfecTV! など)  
 7.その他 ( )

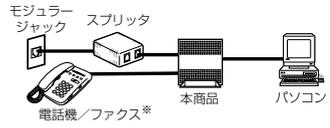
●**宅内配線図**

ご自宅内の配線の長さをご記入ください。  
 ・モジュラージャックからスプリッタまでの距離 → ( ) m  
 ・スプリッタから本商品までの距離 → ( ) m  
 ・本商品から電話機/ファクスまでの距離 → ( ) m  
 ・本商品からパソコンまでの距離 → ( ) m

**■電話回線共用タイプ (タイプ1) の場合**



**■ADSL回線専用タイプ (タイプ2) の場合**



※ IP 電話のみのご利用となります。緊急通報 (110 番、118 番、119 番等) はご利用になれません。

● ADSL 接続サービス状況確認シート

ご契約のプロバイダへお問い合わせいただく前に、ご確認・ご記入ください。

■本商品のランプの点灯／点滅状況	
各ランプの機能については、「つなぎかたガイド」（別紙）に記載のホームページにある「製品仕様」を参照してください。	
●前面	
POWER	緑点灯・緑点滅・橙点灯・橙点滅・赤点灯・赤点滅・緑橙点滅・緑赤点滅・消灯
ADSL	緑点灯・遅い緑点滅・速い緑点滅
PPP	緑点灯・遅い緑点滅・速い緑点滅・消灯
DATA	緑点灯・消灯
VoIP	緑点灯・緑点滅・緑橙点滅・赤点灯・橙点灯・橙点滅・消灯
●背面	
ETHERNET ポート 状態表示LED	緑点灯・緑点滅・消灯
■その他（ハブ、無線LAN等で複数台のパソコンを接続している方のみお答えください。）	
● ハブなどを取り除き、1台のみで接続して状況は改善しましたか？	はい・いいえ
● その他、ご質問等ございましたらご記入ください。（お困りになっていること等）	
ADSL サービスはベストエフォート型（通信品質が保証できない）のサービスです。さまざまな要因で十分な速度がご提供できないこともございます。あらかじめ、ご了承ください。	

## ● IP 電話サービス状況確認シート

ご契約のプロバイダへお問い合わせいただく前に、ご確認・ご記入ください。

■接続状況	
●電話機	メーカー名 ( ) 型番 ( )
●電話機の種類	(あてはまるものすべてに○をつけてください) 1. ファクス機能付き 2. LCR/ACR 機能付き 3. コードレス子機付き
●電話回線の種別	トーン (PB) /パルス (DP10) (DP20)
■電話サービス加入状況 (あてはまるものすべてに○をつけてください。)	
1. マイライン (加入会社 : )	6. キャッチホン/キャッチホン2
2. LCR/ACR (加入会社 : )	7. キャッチホン・ディスプレイ
3. プッシュホン	8. ダイヤルイン
4. ナンバー・ディスプレイ/ネーム・ディスプレイ	9. ボイスワープ
5. ナンバー・リクエスト	10. Lモード

# お問い合わせ

## お問い合わせについて

接続ができない、うまく設定ができない場合は、本書の「トラブルシューティング」をご参照のうえ、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

- パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。
- ADSL など回線接続の条件などについてのお問い合わせは、ご契約のプロバイダへお願いいたします。
- IP 電話の設定およびご利用に関するお問い合わせは、ご契約いただいた IP 電話接続事業者（プロバイダ等）のお問い合わせ先にご連絡ください。

## 本商品の輸送時のお取り扱いについて

故障やレンタルの解約などで、本商品を返却する際には、本商品一式（添付品含む）をお送りください。また、輸送時の破損を防ぐために、本商品の箱・梱包材をご使用いただくか、またはエアキャップなどの緩衝材に梱包してください。

## ●本商品で使用しているライセンスについて

OpenSSL License

=====  
Copyright (C) 1998-2003 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:  
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact [openssl-core@openssl.org](mailto:openssl-core@openssl.org).
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:  
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

=====  
This product includes cryptographic software written by Eric Young ([ey@cryptsoft.com](mailto:ey@cryptsoft.com)). This product includes software written by Tim Hudson ([tjh@cryptsoft.com](mailto:tjh@cryptsoft.com)).

Original SSLeay License

-----  
Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)  
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written  
by Eric Young (eay@cryptsoft.com).  
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as  
the following conditions are aheared to. The following conditions  
apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,  
lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation  
included with this distribution is covered by the same copyright terms  
except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in  
the code are not to be removed.  
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution  
as the author of the parts of the library used.  
This can be in the form of a textual message at program startup or  
in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without  
modification, are permitted provided that the following conditions  
are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright  
notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright  
notice, this list of conditions and the following disclaimer in the  
documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software  
must display the following acknowledgement:  
"This product includes cryptographic software written by  
Eric Young (eay@cryptsoft.com)"  
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library  
being used are not cryptographic related :-).  
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from  
the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:  
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND  
ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE  
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE  
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE  
FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL  
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS  
OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)  
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT  
LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY  
OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF  
SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or  
derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be  
copied and put under another distribution licence  
[including the GNU Public Licence.]

## お願い

- ・パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。
- ・ADSLなど回線接続の条件などについてのお問い合わせは、ご契約いただいたプロバイダへお願いいたします。
- ・IP電話の設定およびご利用に関するお問い合わせは、ご契約いただいたIP電話接続事業者（プロバイダ等）のお問い合わせ先にご連絡ください。

この取扱説明書は、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

